婦選

昭和四年十月號　第三卷第十號

◆婦選十月號主要目次◆
▼主張――舊「婦選」に訣る――政治季節近づく……
▼最近の運動一班……
▼「獨唱と映畫の夕」のこと……
▼政界片々……
▼東京市の塵埃問題……竹内茂代
▼日本婦人經濟大會を觀る……河崎なつ
▼全日本經濟大會の報告……市川房枝
▼舊「婦選」に訣る言葉……
▼九月の日記、新會員名……

主張

舊『婦選』に訣る

我が婦選獲得同盟が、その機關誌として『婦選』を發刊したるは今より三年前の昭和二年一月であつた。

當時同盟として特にこの爲の資金を蓄へた譯でもなかつた、又人手を特に用意する餘裕も有たなかつたにも不拘、生れるべきは生み出され、爾來三星霜、婦選はよく我國に於ける唯一の婦人政治雜誌たる使命を全ふし機關誌としての責任を負ひ、小さき體に精一杯の活動をなし來つた。今や同盟の組織されてよりこの冬は滿五周年に當り、『婦選』も亦適當の成長を遂げて、茲に新婦選として當然の躍進を見んとしつゝある。

新『婦選』は菊版の雜誌型にして、從來の『婦選』よりも頁の多きだけ解説記事を增し『婦選』發刊當初より志して達せられざりし政治教育の實を漸く擧げんとして居る。而して從來の機關誌としての本質は會報を毎月發行してこれに移し、會の活動を詳細に速報して、以て直接本部と會員との接觸に資せしめんとして居る。

これ將に當然の發達にして、我等の喜びは深い。しかも新『婦選』も亦、舊『婦選』發刊の當初の如く、特に資を積み、力を蓄へてその首途を致す譯ではない乏しき財、足らはぬ力の中より必死の勢にて進出せんとするものである。然して新『婦選』の使命は、今や處女地の開拓にあり道やはるかに、負へる荷や重いのが實狀である。志は天をつかんとするも會員諸氏の力ある支持なくしては、この新事業は難いかなである。

然し乍ら我等は信ずる。この當然の成長に對して諸氏はよくこれを理解し、あたたかき手もてこれを支へられるであらう事を。

我等は茲になつかしき舊『婦選』に訣別し新『婦選』の誕生を祝ふと共にこの心よりなる願ひを一千の會員諸氏に告げんとするものである。

政治季節近づく

政治に季節はある筈がない。しかも政治運動には稍季節めいたものが生ずるのは議會が季節的に開かるゝに依るからである愈々冬の議會が近づき、特別の異變の行はれざる限り、この議會は解散となり、來春早々又總選擧が行はれるであらう。

解散の當然とせらるゝ議會と婦選案との關係は淺きが如く、しかも決して淺きに過ぎるものではない。

濱口內閣は今や緊縮政策を眞向にふりかざして進まんとし、此秋以來しばしば婦人をも呼びかけつゝある。而してこの內閣がもし眞に婦人の支持を受けんとなすならば如何にもして在野當時の好意的態度を具體的に進めて以て婦人公民權の即時賦與を言明なすべきである事は我等の屢々說き來つた事である。

更に政友會は田中前首相の死及數個の大疑獄事件にて、國民の同情を失ひつくすと雖も必死となつて淸黨運動を行ひ、衆望ある黨首を戴きて更生以て總選擧に當らんとするの時、前議會に於ける婦人公民權問題の成行を鑑みて、この婦人に關する絕好の政策に對し黨內に積極的態度の必要を說く人々のあるやに傳へも聞く。

若しそれ無產各黨はその本質的立場より婦人解放の諸項目を從來より政策として揭げ來れるもの、就中普選の徹底に含まるゝ婦選獲得については勿論總選擧の政策として今回に限り決して除外せらるべきではないと思はれる。

從つて總選擧をめぐる婦人の運動もまた第一次普選のそれよりは、更に一段の進歩を見、激戰の豫想が成されんとしつゝある

今や各政黨一に息を殺して選擧對策に議を練りつゝあるの時婦選の運動又この機に據つて徐ろに進められんとしつゝある。

これらが如何なる形を執つて天下に示さるゝかは、數ケ月の後にある。

戰ひは已に開始されつゝある

「獨唱と映畫の夕」決算報告

九月廿八日夜の報知講堂に於ける「獨唱と映畫の夕」は皆樣方の御援助により成功に終ることが出來ましたこと何より厚く御禮申上げます。緊縮の時節柄の上に他にもこの種の催が殺到したこの秋の計劃としては、次のやうな結果なら、申分ないと、專門の方方よりも承り、まづ〳〵安心いたしました。取敢ず御禮と御報告のみを申上げます。

一、收入總額		七〇九、六五
內譯	中央委員扱	三七九、五三
	會員、會友扱	三〇、一二
一、支出總額		四〇一、九三
內譯	會場關係諸費用	一〇八、六五
	映畫關係同	一七一、二三
	音樂關係同	九三、〇〇
	稅金	三、二二
	印刷費	七、七〇
	郵稅	一八、一三
一、差引純益		三〇七、七二

(十月十日〆切現在)

昭和四年十月

婦選獲得同盟財務委員會

最近の運動一班

緊縮内閣と婦選

現内閣の緊縮政策について疾くと大臣たちの意見を聽く目的で、東京聯合婦人會が九月十二日午後首相官邸に各加盟團體を招いて會合を催しました。

本會からは久布白、市川、坂本、河崎金子、竹内、田中、千本木の諸氏が出席首相、藏相の金解禁や緊縮に關する話の後で安達内相から、婦人側の意見を求められた時、久布白總務理事は起つて『國の財政について御相談を受けても、自分の世帶の巾着しかやうやく取扱はない女には、中々困難である。こんな事ならせめて平素から市町村の巾着位は、女にも任せてくれてゐたらこういふ時の役に早速立たしたものを』と一矢も二矢も酬ひました。

實際首相にしても藏相にしても、特にどの點を婦人に望むといふはつきりした點は認められず、たゞ大臣達から一通りの政策の說明を聞くに止まつたのでありましたから、久布白氏以外に羽仁もと子氏からも不滿の意志表示がありました。

又主催側としてもこの催しのしめくゝりが格別その日にはなかつた事も惜しい事であつたと思ひます。

但し安達内相は個人としては固より婦選の賛成者でありますので、この際特に會見をする事にし、九月十四日の午前十一時内相官邸に於て、久布白、市川、坂本、鹽原、金子、千本木が、日本婦人參政權協會のガントレット夫人と會ひました。會見の趣旨は、特に現内閣が婦人に呼びかけるには出來るだけ具體的であつて欲しい事、婦人の協力を求めるならば同時に權利を與へねばならぬ事從つて婦人公民權實施の公約を政府が速かになすべきことなどを内相に傳へて考慮を求めるにありました。

議會運動

總選擧を免れられない運命の各政黨は議會開催期の近づくにつれ、猛烈な選擧對策を廻らしつゝありますが、本同盟としても、從來の議會運動委員會を擴大して、總選擧對策委員會の組織が已に成立しましたと同時に、來議會に對する運動も解散を見越すとしても出來るだけの收獲をおさめやうと、鹽原委員長以下專ら潜行運動を進めて居ります。前議會の公民權の成行に對しても、政民共に全然そしらぬ顏をきめ込む譯にも參りますまい本月半ばの各黨政務調査會に問題は何れ稍發展をみるでありませう。

婦人經濟大會に代表出席

九月廿一日大阪に於て全日本婦人經濟大會を、全關西婦人聯合會が開くについて、本會よりも代表派遣を希望して來ましたので、九月六日の中央委員會で「政治を離れて經濟を論ずる事は出來ないのだから會の立場上より參加し公民權要求の聲をあげやう」といふ事になり、市川理事を煩はす事に決定しました。

市川氏は久布白落實氏（東京聯合婦人會代表）河崎なつ氏（婦人問題研究所代表）藤田タキ氏（傍聽）等と西下、別項の如く、本會の立場を明らかにして活躍されました。

今秋の地方的活動開始さる

この旅行の歸途、市川、河崎兩氏によつて大阪名古屋に於ける會員を中心の座談會が計劃され、兩地とも大成功に終りました。大阪は會員新妻伊都子氏の斡旋により、名古屋は同八木恭子、會友小尾菊雄氏夫妻の盡力によるものです。

更に名古屋では十月末に市會選擧が行はれるので、これを期して、婦人の市政革正運動の火の手を上げる事となり來十月八日夜新守座に於て、時局婦人政談演說會が開催される事となり、當日は、市川、金子、河崎の三氏に山田わか氏と生田花世氏も加はられる事に決定してゐます。十三日に濱口首相が同地に赴き、中京婦人に緊縮政策についてよびかける筈なのでそれに先きだつこの催しは、全く時宜を得たものと思はれます。

この秋に入り、地方支部設置の申込が殺到して居る事は、運動がもはや實際の時代に十二分に入つた事を示してゐます

長野市では會員會友有志の手で九月廿一日男女協調研究會が生れ、近く發會式を擧げる筈、そしてこの秋の中に大々的な婦選の演說會が同地に行はれるべく、目下準備中であります。

廣島市にも廢娼婦選促進聯盟が組織されやうとし、新潟縣下各地、及金澤市よりも目下熱心な會員の支部設置要求が參つて居り、何れも今秋中に決定を見る事になつて居ります。

信州南佐久靑年聯盟が十月三日の發會式に金子氏を招き講演會を開いた結果、近く第二回の婦選講演會を計劃すると共に、聯盟婦人部組織が具體化しつゝあります。

かくて支部に準ずる友誼團體の各地に結成さるゝ情勢を更に力づよく全國に押し進め、以て一氣に公民權獲得に進みたいではありませんか。

固められゆく經濟的基礎

今秋の基金計劃は豫定通り九月廿八日に行はれ、別項報告の如き結果を收めました。

又一方久布白總務理事、竹内田中中央委員等による特別募金運動は婦選成就の日まで每年百圓を寄附する篤志會員會友の獲得に孜々として倦まず、已に十に近き數の決定をみ、已に現金を送られた方に水野滿壽子、德富愛子の諸夫人があります。財務委員會は又會員委員會と協力して、十月十四日夜大阪ビルレインボウグリルに「維持會員と會友の集り」を開く事になつてゐます。

市會委員會その後

眞夏の日も戰ひつゞけて來た市會委員會のガス運動は、九月も持久戰に終りました。この月中にはと思はれた商工省の裁定も又候うやむやに伸び、たゞ會社側が岩崎社長の歸朝を機としてこの問題の一展開をと、廿八日市へガス公納金增額を前提とする妥協案を持ちかけましたが三十日の市會調査委員會はこれを一蹴し技許相も變らぬにらみ合ひを續けてゐる譯です。然し供託同盟やこれに續く滯納

（三頁へ續く）

「獨唱と映畫の夕」のこと

S・G・R

×

會の創立以來、募金の爲めこの種の催しは殆ど年中行事になつてはゐるものゝその爲の切符賣りは、幹部連にも藝術の種ともなれば、それが爲に會員が脫會の何のといふうるさゝもいつも附きまとつた。それである年の財務委員長は催し物一切中止會員增加運動に主力を注ぐと宣言した事もあつた。去年の暮、會費を大英斷で一圓に値下げする事に決つた折にも、その爲の不足の補充として募金の催物をやらねばならぬとしたら値下げは有名無實と反對した向も尠くなかつた。

所が又春の總會で、會の本當の基所について熱心な會員たちが心配した結果が、やはり時には會員全體が、多少の骨折りをする催し物計劃もあつてよいといふ事になつた。

で、年に一二回、金額の低い切符を有志の會員に引うけて貰ふやうな催し物を、繼續する事になつた譯である。

×

映畫會は去年の秋もやつて、九十九錢券千枚うつて、五百圓の純益を擧げる事がさして困難でない經驗を有つてゐた。額の高い觀劇會よりも今年も大衆的な映畫會で、何か目先きの變つたものを添へてといふ事が最初の注文であつた。所が去年は折よく舞踊を加へられたものゝ、今年の舞踊ばやりは容易く贊助的な出演者を得難くもさせ、又餘り變りばえもなくさせた。八月の盛夏を係りのものは何がな新しいものをと奔走したがめぼしい收獲がなくて、九月に入つた。死物狂ひの當事者の前に、義俠的な出演を、聲樂家の照井榮三氏が申出て下さつた。

音樂は初めてである、それだけに、實は氏のなみ／＼ならぬ厚意に何もかも縋つて了つたわけであつた。

映畫會の積で、やつと不滿足乍ら手に入れた會場だけに、音樂となると心配でもあつたがとにかく獨唱と映畫の夕といふお膳立が出來て、一氣呵成に札うりにまで到達した。

×

映畫は大橋財務委員長が夫君や令息を煩はして一家總動員で、埋もれた珠を集める事が出來た。獨唱のプロもきまつた。ポスターも本プロも立派なものが寄附で出來る事になつた。この上は賣れ行きだけである。

所が、時節柄である。緊縮々々の聲にどこの此種の會合もずゐ分慘たるものだと方々から情報が集つて來る。氣が氣ではない。悲觀する人、樂觀する人交々であつた、もとさへ取れたらいゝ事にしやうと終には皆で心を決めた。

うれ行きは、後二日を餘すといふ廿六日になつても確定が三百位しかない狀態であつた。

×

當日になつた。天氣具合はまづ申分ないらしい、するべき用意だけはした。後は

政界片々

疑獄、疑獄、疑獄。これが松茸かなんぞなら當り年と大うかれだが、字にかくもいやな、それも根が張りも張つたりとは、國民こそいゝ面の皮。

×

御大典で記念章數十萬個作製を種に民間會社から運動費を取つた勳章疑獄。長くも勳記に副書するの位にあつて數萬の收賄を働いた前賞勳局總裁天岡某贈賄の張本人代議士堤某

×

この蔓を辿つて賣勳の事實餘多。黄白を積んで勳章を手に入れたもの日活社長某、關東、關西大實業家數名。

×

賣勳の別口として鳩山前内閣書記官長秘書海原某收監、俳優尾上菊五郎丈勳六等敍勳も嫌疑の的となる。

×

山梨前朝鮮總督をめぐる釜山取引所設置、東萊温泉拂下に係はる利權疑獄。東京の米穀商某を欺き運動費廿三萬圓詐取に關聯して山梨夫妻の身邊危しと屢々傳へらる。

×

天岡氏と堤氏の收容より疑獄の火の手樺太山林拂下問題に飛火。

×

大阪市岡三業地指定疑獄と、富山水利權疑獄は前警視總監宮田光雄氏を疑惑の中心人物となす、絡るもの富山縣議、東京府議。

×

疑獄中の疑獄本件を鐵道疑獄となす。前内閣倒壞の間際に認可した私鐵新線にからみ、前鐵相先の司法大臣小川平吉氏の收受額二百萬圓。秋雨そぼふる中を市ケ谷刑務所に收容

×

この最中に、政友會總裁前内閣總理大臣突如狹心症を起して急逝す。正に九月廿九日拂曉。秋雨斐々として降る。

×

政友會後任總裁問題にて、犬養長老推戴、大勢となるが如くにして成らず、床次、鈴木兩派の暗闘露骨にて旬日を空費、七日漸く推戴と決し十月八日めでたく翁の受諾を見る。

×

七十五の老翁を戴いて政友會清黨運動に更生に、幾許の氣力を恢復するや、さり乍ら、金がない故總裁にはなれぬなどの考へだけは打破つた點、一通り領袖連の骨折がひを祝はむ。

×

政黨は同じ政黨乍ら無產黨の最左翼として新勞農黨の結成近くならんとす。大山、細迫、上村の三氏の奮闘、無新一派の毆撃、火花散る。

×

社民、大衆、總選擧對策に苦心。地盤協定益々困難として、大將株の同志討到る所に行はるゝやの懸念濃かなり。

ともあれ、崩ゆべきは崩え、壊るべきは壊れ、起つべきは起ち、爭ふべきことは爭はれんとす。而してこれ婦人よりは皆圈外の戰ひ哉？

×

五ケ國軍縮會議正式招請狀到達し我回答も旬日を出でずして發せられんとす。政府首席全權に若槻氏を推し財部海相、松平駐英大使を次席と決したるも、若槻氏の受諾未だ決せず何にせよ、文官出身者を首席として起用の事はうれし。

×

丸山警視總監のカフエー取締嚴格を極め再び鬼總監の名高し。

×

堀切東京市長等全國の市町村に率先して緊縮實行の減俸案をまづ自らより實現せんとす。まじめといふ事こそうれしき事なれ。

二頁よりつゞく

同盟などが消費者側から後から後から出るので事實上では余程參つて居るらしく減收も二百萬圓に近いと傳へられてゐます。

商工省も調査は完結したのですから、俟商相の歸京をまち、近くガス事業委員會を開いて諮問した上で裁定せねばならない狀態に立ち到つてゐるのです。總選擧もある事とて民政黨としてガス會社と戰ふ事の不利が問題を永びかせるのだといはれてゐますが、如何なものでせうか

九月十九日には市川氏宅のガスは止められましたが、地中に埋めてある鐵管を長さ三尺ほど切り取つて行つたさうです。この運動に參加したので、同盟が赤化したといふ宣傳がかなり意識的に行はれてゐるやうで、本部へもよく警察のお客樣の訪問を受けますが、これで赤かつたらまじめに家をもち、子を育てやうとする女の正しい努力は、皆まつ赤ではないでせうか。どの樣にいはれてもガス會社の誠意を我々婦人は認められないではありませんか。

運を天に任せやうと事務所はおひる頃からもういつ夜が來てもいゝ狀態だつた。

所へ「照井さんが見えました。」といふ。これは!!と事故の出來を豫感した。出てみると厚い濕布をのどにまいた照井氏の青い顔が玄關に。「ともかくも身代りを立てましたから」と同行の藤木氏がいはれる。

成るやうにしか成りはしない。プロの變更をしらせる印刷物を大いそぎで謄寫する。この變更で切符代をかへせといふ人には、返しさへすれば、それでいゝのだとする。

然し何がなしに殘念さが皆の胸にこみ上げて來る。

×

所で會場へは四時半からお客さんは入り出した。心配してのぞきに來た×新聞のKさん『大丈夫だ、然しもときへ取れたらいゝ事にしないじや此時節だもの』と勢をつけて呉れる。歌手の變更を揭示したり、樂屋の準備に追はれてゐる内に、入口は後から〳〵の入場者でいゝ加減の混雜、六時にはや半分以上の入りである。

『辯士も、樂士も揃ひましたよいつでも。』と大橋氏から合圖がある。『何卒いつでも』と答へたものゝ代りの歌手水木氏の姿はまだ見えない。まゝよ、映畫二つつゞけてもらへばと心をきめたがいふ事をきかないのは、會場のベルで、その爲に大分手違ひが出來たらしく、開會のしらせの鳴りひゞいたのは、申譯なくも七時だつた。

水木氏も、伴奏の清潮氏も譜めくりをしてくれる千種女史ももう到着してゐた。照井氏も青い顔を會場の一隅に。

×

とにかく時間がおくれたり、あてにして來た歌ひ手が出なかつたり、ピアノを出したりスクリンを上げ下す無體裁をさらしたり不行屆きは隨分多かつたので、樂屋で皆が恐入つてゐたのだが入場者の大部分はとてもいゝ理解と同情を示して下さつた。これは何より〳〵嬉しく有りがたかつた。これでまうけては濟まない位だと誰かがいつた位だつた。誰も不埒だなんて受付にどなりこんだ人なんかなかつたと、若いOさんが報告した。

『赤ん坊づくしも西風も名畫をよく並べましたね。』と歸りの出口で囁いて下さつた方も多かつた。『御成功で』とはよくいはれた。『何もかも、本當にありがたうございました』我々は出口に並んで、本當に心からの感謝で八百に近い入場者のかへりを見送つた事だつた。

×

もときへ取れゝばといつたその濟算は別揭の通りの純益をさへ獻げてくれたのだつた。

この成功は何の力か、私たちは躊躇する事なしに、これが會員諸氏の力であるとする。一齊に正會員に二枚、維持會員に三枚づゝ振りつけた切符で、默つて受取つて下すつた額は實に三三〇枚、中央委員扱の三八〇枚と匹敵する額に上つた事は、これまでのどの催しよりも最も多く會員の支持をうけた事を示してゐる。「年に一度や二度のお手傳は會員の義務です」欣然と拂込んで下さる方が尠くなかつた。

私たちは今度の催しで實に無形の收獲を得た。私たちは無數の我々を支持する手を通じた。私達は今その感激にみち、しづかにこの秋の豫定の一を了へて次の歩みに進まうとしてゐる。

飾りに出演者諸氏及、この計畫について種々の好意をよせて下さつた藤木義輔氏長田恒雄氏ポスターの圖案をかいて下さつた伊賀山精三氏プログラムを寄附されたパイエル會社ポスターを寄附された日東蓄音器會社にもお禮を申上げたい。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

東京市の塵埃問題

竹内茂代

東京市に於ける糞尿と塵芥の處置それは市民に取つて重大問題である衛生上經濟上體面上一日も忽にすることの出來ないものである。其解決のために、市では新に其道の造詣深い川村伯爵が入られ、完全に塵芥の整理の法が講ぜられやうとして居る此上ない結構なことである。どうぞ一日も早くあの蠅の發生所である塵箱までも廢し得る樣にありたいと切望する。

が、それよりも倚願ふて止まないのは糞尿の取扱ひである。各家庭に於ける不快な臭氣、每回取扱ふときの不快さ、それも大阪の樣に夜中にでも取扱つて貰つたらまだしもだが東京の眞中でも白晝不幸にも晝食時に相當することが多い。

其不快の物を積んだ車は市の中心から各街道を放線狀に郊外に向つて行列をして居る。それは實に每日のことである。只さへ狹い路面を自動車人車荷車と雜然と走行する中を牛の歩の遲々として交通を一層不敏滑なものにして居る。空には飛行船がとび地下鐵道によつて交通の緩和を計らふとして居る今日何と云ふ不釣合の狀態であらふ。

然しもし五日間此車が全然動かないとしたら市の內外はどうなるであらふかを思ふ時市民は此苦痛も忍ばねばならぬ。百姓と云ふものは、それが職業であるからと云へばそれ迄だが斯樣な不潔なものが其儘で人の手によつて取扱はるゝことは何となく悲慘の感がする。實にこれは外觀だけでも大なる苦痛であるが、併しこれを衛生上から考へるときに實に戰慄を覺える。

市の內外共殆ど一年中赤痢、腸チブスの如き傳染病がこれによつて何時になつても絕ゆることがない。今日結核豫防法は制定されてあつても完全な消毒の行はれない結核の喀痰又は腸內容物は殆ど總て便中に捨てられこれ亦傳染の機會を造つてゐる數年前に獨逸の病理學者アショツフ博士の來朝の折汚芥車の行列を見て何かと問はれ、人糞の旨を傳へると何にすると問ふ、肥料にとの答をきいて其日から帝國ホテルの食卓に供せらるゝ生の野菜一切に手をつけなかつたとは有名な話だが。今日の傳染病の經路を知り、腸寄生虫の寄生染病を知らば今日日本全國民は決して安心して生野菜を食べ、生水を飲むことは出來ない。

此不潔物の處理についても當局者は相當に研究されて居られることゝ思ふ。東京市の如く上水道の完成したところで下水道が完成されたなら此弊から救はれやうが、それにしても市の隣接町村は殆ど市同樣の人口で人家密集して居るから都市計劃の完全に實行されない限り市內だけの淨化では眞に傳染病豫防の徹底は期し難い。

蛔虫十二指腸虫等の害も傳染病に劣らぬ大きなもので人糞肥料の習慣の除かれない限り防げるものでない

それ故今日直ちに行ひ得る最善な方法はメタンガス裝置である。メタンガス利用のことは今日學者の理想論ではない。單なる學說でもない。もはや實行の期に入つて居る。賢明なる市當局の方々はとくに御考慮の內に加へて居らるゝことゝ思ふが、此メタンガスは有機物殊に植物纖維素からメタン醱酵の結果發生するものであるから最も腐敗し易い炊事場の廢物及人糞馬糞は最良の材料である。これ等の物質は燒灼にも適せず腐敗は劇しく蠅の發生の最も多いものである。殊に菜食の日本人の人糞は肉食の人に比して、メタンガスの材料に好適である。

東京市に每日二十萬貫の塵芥が出ると云ふ此內大半は厨房の廢物である。私の厨房では、每日三貫目の廢物だけで出來るメタンガスは、一ケ月市のガスに換算して七圓餘になる目下問題になつてゐるガス問題も、各家庭にメタンガス裝置があつて生活に必要の半以上を得られたら自ら値下げも出來るであらふ。

メタン裝置の作製に要する費用については研究の餘地充分である。

中澤美代子女史は下北澤で三百坪の庭內に十數種の野菜穀物等を試作し、メタンガスから流出する水のみで他には一切肥料を仰がずに非常な好成績を舉げて居られる。こゝは人糞、厨房の廢物、浴場の下水道一切を入れて玆に發生せるガスで生活し其流出水は肥料として居られる。これで農村の燃料を得、肥料を得、人糞を直接用ふる慘狀を救ひ、衛生的に導かふとして居られる。これは都市に於ては直に經濟と衛生と文明國としての體面を保つことゝなる。

竹内茂代女史著

妊娠より分娩まで

定價 廿錢
送料 四錢

田中芳子夫人の愛嬢の結婚を祝ふ爲に執筆せられたものを廣く頒つ事にせられた、意味ふかいパンフレットをお取扱します贈物用に賞品用に大に活用されてよい良書と推奨します。

日本婦人經濟大會を觀る

河崎なつ

所謂「經濟國難來―打開の解決は婦人の經濟的奮起に俟ること大なり」として全關西聯合婦人會は去る九月二十一日大阪に「全日本婦人經濟大會」を開催した馳せ參じた三百名の婦人團體の代表者と千二百の傍聽者とは文字どほり場に溢ふれて全く緊張した一日であつた。午前八時半から午後四時まで安達內相鶴見祐輔太田正孝三氏の經濟生活と婦人に關する講演で、午後四時から九時までが「消費經濟と婦人」に就いての本會議、輸入抑制、物價低下運動、消費節約、婦人產業組織の串合等に關する決議案生活の合理化決議事項の實行普及方法に關する研究等につき熱心に討議して、此の劃期的な大會は終了した。

△

私は敢へて劃期的な大會といつた。時宜を得た本質的な企であつたからである殆んど一切の公生活を許されてゐない我國の婦人は、公生活への理解至つて乏しい結果、一家の財布の〆め締りでは唯一の手腕者でありながら「買へるから買ふ」の經濟的個人主義に墮し果て、その心掛の社會國家の公經濟生活に及すことを、嘗て思ひ見たことがない。然るに此の日こそ婦人自からの手によつて系統的に論理的に如上討議の諸問題をとほして「私經濟と公經濟との反映」を如實に看取し承知しようと相互に呼びかけ合つたのであつた。

由來婦人の會合は、政府が吹き鳴らす緊縮の横笛に無條件に踊り出して身につけてゐた貴金屬品を國債償還の資にと獻上したり、「更に緊縮貯金をいたしませ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

全日本經濟大會の報告

——附大阪名古屋の茶話會出席の記——

市川房枝

經濟大會と婦選同盟

東京朝日新聞の竹中繁子氏から、全關西聯合婦人聯合會主催の全日本婦人經濟大會へ代表者を出してほしいとの申込みがあつた。

これに對し、中央委員會は、本會の主張である政治と臺所の關係を明瞭にする好機會でもあり、且つ全關西聯合會との從來の特別の關係を考慮して代表を派遣することに決定、筆者がその任に當つた。

一團體からは一名の代表者と限られてゐたが、久布白總務理事は東京聯合婦人會から、千本木中央委員は婦風會から河崎中央委員は婦人問題研究所からそれぞれ代表者として出席することになつたし、藤田中央委員も傍聽として出席されたので、婦選の同勢は都合五名になつた譯である。

經濟大會の經過

大會は全關西聯合婦人會主催大阪朝日新聞社後援の下に同社内朝日會館で開催された。出席者はいつもの全關西大會に出席される御定連の他全日本の名にふさはしく秋田、宮城山梨、新潟、靜岡、神奈川、東京から二十餘名の出席があつて總數三百名近くであつた。

午前八時半開會、左の順序で進められた。

開會の辭　主催者代表　恩田和子

挨拶　後援者代表大阪朝日新聞社編輯局長　高原操

講演

太平洋時代に於る日本婦人の使命　朝日新聞社友　鶴見祐輔

經濟の緊縮と婦人の力　内務大臣　安達謙藏

婦人の經濟領域　經濟學博士　太田正孝

（以上〔正午晝餐〕午後三時まで）

消費經濟と婦人についての本會議

（午後四時より〔晩餐〕九時まで）

右講演中我々の注意をひいたのは安達内相の講演の後半に於て氏が、婦人の力―それも田舍の主婦、女學生が―如何に政界の廓清に寄與したかの實例をあげられた事であつた。然し氏は婦人の參政權乃至は公民權については一言もふれなかつた。

決議事項

經濟會議の本體である協議會は午後四時から初められた、これは豫定通りであるが、朝からの盛澤山な講演に食傷にあらざる講演傷にあてられた頃から初められた譯であつた。議事はその日朝會場で渡された議案なる印刷物に、決議事項としてかかげられたる項目の順序によつて進められた。

決議すべき事項

第一項　輸入抑制

一、贅澤品輸入についての申合せ　二、優良品生產奬勵

第二項　物價低下運動

一、關稅及消費稅廢減運動　二、日用品の單純化運動　三、當局に建議　四、不當に高い協定値段引下運動　五、不當に高い品についての申合せ

第三項　消費節約

一、不必要品排除　二、水道電氣瓦斯の節約　三、諸禮の節約　四、日本全國の家庭共通の時間割と週間行事の實行

第四項　婦人の產業組合組織の申合せ

研究すべき事項

第一項　生活の合理化

イ、現在の國民生活費調査　ロ、食の合理化　ハ、衣の合理化　ニ、住の合理化

第二項　決議事項の實行普及方法

イ、パンフレツト、リーフレツト

ロ、展覽會

ハ、講演會

ニ、各戶に標語の掲示（全國に對し適當な標語募集）

附　我國經濟現狀に鑑み軍備縮少を當局に建議する件

恩田氏から極めて簡單な提案の說明があつてから愈々議事に這入つたのであつたが一々の項目についての出題者の說明もなく、内容の審議も殆どなしに時間がありませんからとて次から次へと進められるのですつかり面喰つて東京側は河崎、高橋の二氏を除いては謹聽してしまつた。

此間の詳細は頁數がないから別項河崎氏の感想欄を參照されたい。

婦人參政權に關する決議の否決

これより先、お晝の時間に此度の大會では政治問題を取扱はないことに申合はせが出來てゐるとの事が分つた。これは久布白氏初め我々婦選關係者にとつては意外の事なので、參政同盟の高橋千代氏とも協議の上當局者にその質疑並に、それを事實とすればその理由をたしかめた。時間がなく充分主催者の意見をきく事が出來なかつたが、その申合はせは事實で、その理由は大體左の如きものであるらしい。

「此度の大會は金解禁といふ國家的大事業に對しての直接の問題を取扱ふのだから政治問題は關係がない、それに、政治問題で大會を混亂させ度くない。

此際、參政權、公民權に結びつける事は面白くない、むしろ大戰當時の英國婦人の如く、婦人が此度の場合に大に働けば要求せずとも與へられるだらう」

この立場は我々の見る所と異るのでそれ等について多少話合つたが、時間もなし、結局は意見の相違といふことに歸着した。

この主催者側の意志を知つた我々は、その意志に反して參政權公民權の問題を持ち出すことは、禮儀としても面白くないと思はれたが、然し事は極めて重大な問題なので、兎に角緊急動議として提出するだけの了解を得た。

かくて午後八時頃消費節約の項の討議中緊急動議として左記の決議案を提出し、久布白氏及筆者とで簡單に說明した。

―婦人參政權に關する決議―

我共は婦人が國家消費經濟に於て占むる重要なる地位を鑑み、速に婦人に公民權及參政權を賦與せんことを政府に建議する。

理由

我々婦人は國家經濟に於て九十億圓の消費經濟を掌る極めて重要な地位にある。然るに婦人はその國家經濟及市町村の經濟に全々關係出來ない境遇に於かれてゐる。かくの如き狀態では到底消費節約による國家經濟立直しの効果をあげる事が出來ないと信ずる。

それのみならず我々が贅澤品の輸入制限關稅及消費稅廢減、物價低下等の運動に參加せんとするも、それ等を決定する機關への發表を禁止されてゐる現狀ではその徹底を期する事は困難である。消費經濟を預る婦人の政治への參加は經濟と政治とを接近せしめ、政治をして國民生活に即した政治となさしむる所以であると信ずる。

昭和四年九月二十一日

全日本婦人經濟大會

右提出者　久布白落實　河崎夏子　高橋千代子　井岡ちせ　千本木道子　市川房枝

（以下六頁へ）

ら」程度の興奮と目前への向合に終りがちであり易いのだが、此の大會も稍その氣係が看取せられないでもなかつたが、主催者の深慮は建議題目の選定配列をとほして、途に「婦人の產業組織運動」にまでの決意を促し「今日が始りだ、更に第二步第三步、經濟活動の道は遠い」と確り思はせたことは、出席者の一人として婦人將來のために欣喜するところであり、主催者に感謝する所であつた。全關西婦人聯合會はよい會をして下さつた。

△

然し一つの遺憾とするものがないでもない。それは、「決議の實行方法」を協議の時に、婦人の公經濟活動を眞實ならしめる唯一の相關事實として、公事に對する婦人の參與婦選の獲得、まづ婦人公民權附與の要望」は今日の會として當然併せ考べきであるとして、「婦選」と「參政同盟」とから緊急動議に提案したのであつたが主催者等政治問題に觸れるを喜ばれなかつたことであつた。「先づ經濟から」といふ精神も一應は尤ながら政治は羽織經濟は袴、二者併せ著けて一人前の裝ひなり、政治は主人經濟は女房、二者揃ふて一家が整ふ。鳥の兩翼、車の兩輪、一方がなくては他方も動けぬ相關事實を知らしめる啓蒙行爲としてもあの會としては決議の一項に加へてよかつたのではなかつたか。

新裝「婦選」十一月號
十月中旬出來
至急お申込を乞ふ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

舊「婦選」に別るる言葉

◇

貧乏にも慣れると讀が据はるものです「婦選」の貧乏な會計も、もう三年目になりますね。だが貧乏なくせに勢だけはなか／＼旺なものです。今迄の十八頁やら十二頁では言ひたい事も言へず、書きたい事も書けないといふので、愈々十一月から菊判六十四頁の雜誌の體裁にして出すことになりましたので、ほんの少しばかり息がつけるといふものです。

ところで、貧乏は依然として貧乏なのですから、讀者を煩すことは勿論、廣告で費用を取り出さうといふのですもの愉快ぢやございませんか。忙しい連中が廣告取りに時間と勞力をまるつぶしにしても取れない時には取れない。

それがそれ、「婦選」といふ特殊な雜誌なのですから。廣告取りもなか／＼容易ぢやございません。おまけに民政黨內閣の緊縮宣傳が祟つて何とか言へば緊縮です。どうも困つた熟語が流行り出したものです。

だと言つても、そんなことで消氣てはゐられません。大に忍耐と押しとでやつて行かなくては追つつきません。

十一月號は、新生「婦選」として皆様の忌憚ない御批評と御注意とを期待して十月中旬出すことになりました。

どうぞ、編輯者になつたおつもりで、何かとお氣附きの點をお知らせ下さいませ。

なんですか、から、雜誌の型になつて見ると、又、何とも言へぬ希望と樂しみが仕事の上に湧いて來ます。長の耕地に立つてほのぼのと明けてゆく大空に向ふすが／＼しい心持とでも申しませうか。

なにはともあれ、御知人に新生婦選を御紹介下さいますやうに、どうぞお願ひいたします。（宮川）

◇

大正十三年十二月十三日の夜、丸ノ內は丸ビル前で私がこの脣に上せた言葉—「本當はこれからなんだ、これからが大變なんだ」—を、その儘、舊婦選に別れて新生婦選に移る日の、ことばにしたい私である。

それは婦選獲得同盟が、婦人參政權要得期成同盟會といふ長い名前で生れ出た當日の夜であつた。私たちは會場であつた保險協會を後に、東京驛前の廣場を吳服橋の方へ斜めによこぎつてゐた。夜霧が降りつくして灯がうるんでゐた。瓜先に當る小石も濡れてゐる夜だつた。數步の先をゆく仲間の人々はまだ臺間の亢奮のさりやらぬ聲音で、生れ出でたものゝ喜びをさゞめきあつて行くのだつた。

勿論私にもその感激がなかつたのではない。然し生れるものは生れたのだ、育てること、それこそより以上の骨折りくるしみの連續なのだ。私は並んでゐたＦを顧みた。

「ねえ、これからこそだわ」

Ｆもめがしらににじむものを否めないらしかつた。

私たちは今又一つ當然に生れるべき子を生まうとしてゐる。そして私は又この決して新くはないことばを、再び口に上せやうとしてゐる。勿論これは一つの偽りのない事實だといふだけである。

（かねこ、しげり）

◇

現在の「婦選」を菊版の雜誌と會報とに分離させることに決定する前、今一つの改革案があつた。

それは已に數ケ月前のことであるが、版を四六四倍版にし、新聞活字にするといふのであつた。然しこれは遂に實現出來なかつた。

私自身は、婦選から出す雜誌としては菊版の雜誌型にするよりは、四六四倍版位のものを月二度に、更に進んでは週刊にすることだと考へてゐる。然して內容は其の時の時事問題乃至は會の活動を出來るだけ早く會員並に一般婦人に知らしめることが肝要だと思つてゐる。

從つて此度の改革擴張はそれにいたる迄の過渡的な存在だと、私自身は考へてゐる。（房枝）

◇

晴れがましい氣持で初めて差出した「記者」といふ名刺を受取つたデパートの廣告主任は「ハ、ア婦選獲得同盟ですかちやプル婦人の集團ぢやありませんか、そんなら何も私達のとこから廣告なんかお取りにならないでも、アハ、、、」と哄笑した。

正銘の貴夫人や令孃たちと畫架をならべるアトリエ內の空氣にうんざりして、繪の具いぢりを捨てるかはり、親の金を貰ふまいと決心をして初めて市川さんを訪ねて何か稼ぎ口を探して貰ひに行つた頃、「婦選」は誕生間近かであつたと見え、數日後私は手を眞黑にして、校正や發送をはしやいだ氣持で手傳つた、すべてが活々として物珍らしかつた。廣告取りにも喜んで行つた。

今考へても實際皆よく働いた。金もないのに。

形にも內容にもいろ／＼議論があつたがそれは新しく改められる「婦選」によつて誰も一應滿足するだらうと思ふ。しみ／＼と見直すと、捨て難い體裁のよさと內容のそつのなさに改めて微笑する。

今度のは會報を兼ねない氣安さで多分にナンセンスが許される。ですからモガさん達も、皆さんお讀み下さい。（續）

◇

原稿用紙、インクつぼ、ころがつたペン軸ノリ、鋏、投書の原稿—それ等のものゝ雜然と散らばつた机のすみに、新しい婦選にのせる連作小說の第一回のゲラ刷りがのつてゐる。原稿を催促する電話その右側の黑板にはまぎれもなく森さんの手で「婦人の友、牛込—三七一八、木曜（三日）電話をかけて廣告の件お聞き下さい」と四角に囲つたメモがある。「いつも世話をやかせるのは貴女だけなんですからね、今度からはもう今までの樣なつもりぢや困りますよ。少しきりつとしてくれなくちやー」とつちめられてゐる市川さん。

もうすつかり新しい氣分でする若い連中には生みの苦しみも、育ての責任も考へてゐる暇はなく、新しい仕事に向つてもうとび出したい氣持だけです。只言ひたくても、書きたくても、高々十二ページの紙面では手足をのばすどころか、あくび一つろくには出來なかつた。

でもやうやくに、小さくなつた着物をぬぎすてゝせめて、膝のかくれる着物を着られる喜びに、何かしらたのしい晴れやかさを感じてゐます。（兒）

◇

「婦選」も三つの年を重ねて、今よち／＼步きから、一躍一人前の娘に成長せんとしつゝある。今まで彼のたど／＼しい步みを見守つて來た私達は更生「婦選」の輝かしい新生への旅立を祝福すると共に過去の彼女の幼姿をしみ／＼なつかしみ、別れの言葉をかけたい衝動に驅られる。

わたしは、初めの頃は一讀者として彼女に接した。社に幾十冊となく寄贈されるロハ雜誌の一つとして、私は氣にもとめなかつたが、或時ふと取り上げて拾ひ讀みを初めると、その巧みな編輯としげり女史や房枝女史其他の或は銳ひ或ひは輕妙な文章に引ずられて、とう／＼隅から隅まで一字も餘さず讀み盡した。雜誌の洪水に責められて飽々してゐた私として、それは空前の出來事だつた。それ以來私は「婦選」のファンになつた。せい／＼十二頁か十八頁のあの小つぽけな「婦選」、然し小さくてピリヽとした「婦選」だつた。其後私も少しばかり彼女の世話を見る一人となつたが、婦選運動の成長につれて言ひたい事が殖えて、あの小さい身體では滿足出來なくなつた。そして私達は、彼女に大飛躍を與へる決心をしたのである。

新しい私達の娘は、果してどんな成長を見るか。どうせおとなしい八方美人になり得る筈はないから、その道は苦難に滿ちてゐる事だらう。然し私達は、彼女が婦人大衆の先驅者として任務を勇敢に果すであらう事を否果させねばならない事を、信じ、且つ誓ふ。（武田）

——五頁より續く——

この際、可成の拍手があつたが、續いて反對の通告があるとて聯合婦人會大阪市の中村ひさゑ氏が立ち左の意味の反對論を述べられた。

『今日は經濟會議である。それに參政權等は大體ダイヤモンドのやうなもので今貰つて使ひ道に困る。此のやうな場合に婦人が大に働けばだまつてゐてもお上から下さる……』

これに對しても多少の拍手があつたが、婦人參政同盟の高橋氏はこれを駁する發言を求められたが、議長は決をとらず此度は經濟會議だからといふので、有耶無耶に葬られてしまつたのであつた。

かくてしばらく夏羽織を着るがいゝとか惡いとか、指輪をぬいて政治に寄附するといつた提議が出たりして、實行方法も豫定通り決議されて閉會となつたのである。

◇大阪並に名古屋に於ける茶話會◇

此度の大會に多數役員の下坂を機會に演說會を開催するやう計劃したが、時がなかつた爲め出來なかつた然し會員其他有志の茶話會は會員新妻伊都子氏の盡力によつて大會の翌廿二日午後一時半より大湖食堂にて開催出席者三十餘名で頗る盛會であつた。

同じく歸途を利用し、翌二十三日夜名古屋に於て茶話會が開かれ、河崎氏及筆者が出席した此方は會員八木恭子氏、等の盡力で午後五時から市內の女學校長其他婦人會幹部よりなる婦人問題硏究會の晩餐會に招かれ、七時から會員、各婦人團體幹部淸話會員其他も加はつて約五十餘名で茶話會が開かれた。

話は大阪の經濟大會に於ける報告から婦人參政權及公民權についての意見を交換することが出來た。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

九月の日記

二日 堺眞柄、平田のぶその他諸氏事務所へ集り、昨日とつた署名の整理をする。合計六六七七名。これを持つて參加團體の人々約二十名と商工省へ俵大臣を訪問。午前十時商工省でお目にかゝります、と約束したのに待たされること約一時間。やがて代表の方五名だけとのお達しも何のその、ズラリと目白押しに應接室に並ぶ。「大臣は只今手ばなし兼ねる用事で一寸失禮いたしますがよろしければ私が承ります」―秘書官の言葉を引つたくる樣に「おすみになるまでお待ちいたします」と金子氏一言。そこで又、待たされる事一時間。十二時過ぎてやつて來た俵大臣に、金子、堺、赤松、その他二三物を言ふ。きはどい所へ行けばつかみ損つたウナギの樣に逃げるし、言葉がとぎれゝば逃げられ相だし、始末に負へない。とにかく署名簿一冊也と願書を渡して一同退出。

午後の共託同盟例會へ金子、兒玉出席

五日 そろ〳〵と映畫會の仕事が忙しくなり始めて來た。

七日 金子、日東蓄音機店へポスターのことで出かける。今年のデザインは金子氏の友人伊賀山氏をわづらはした。印刷は日東へ一切たのむことにした

午後一時より理事會、坂本欠席、久布白、市川、金子、出版委員會及會計狀態について熟議す。

八日 越後高田市の青年政治研究會主催の討論會に市川、兒玉出席。「男子の選擧權を二十一才迄に擴張すべきか」「婦人に公民權を與ふべきか」のことについての討論會で靑年諸氏約二十名。いはゆる婦人辯士四人が三時間半に互つて賛否交々の火花を散らした譯である。討論とこれに對する批評（之は鶴見祐輔、奥むめお二氏がした）のあとで市川氏が實際運動について報告的な講演をした）聞きあきる程でなれてゐるとは言へ、いつまでも女奴隷を置きたい人達の勝手極まる反對論には一々反駁するのもいやな程だつた。が、非常に眞面目な氣持のいゝ賛成論も一つ二つ出てはゐた。概してこの地方の婦選に對する空氣はまだ非常に若いそれだけに力を注ぐ必要の大きいことをも感じる。

九日 映畫會のプログラムと切符が出來上つて來たので府下の會員會友四四三名へ發送。

十二日 東京聯合婦人會主催で首相官邸で首相、藏相、内相から緊縮政策に關する御高說拜聽の會が催され、久布白、市川、金子、藤田、河崎、坂本、千本木諸氏出席。緊縮政策を手傳はせたいならまづ參政權をよこせと、大分硬い交渉も出た由。

十三日 ポスター三〇〇枚出來。日東レコード會社より受取る。午後出版委員會。新しく擴張の「婦選」の計劃が會毎にすゝめられて行く。夜は中央委員會。出版委員會の件、及、やがて來るであらう解散と總選擧の對策について協議。先頃の總選擧では兎角の批評も多かつたので大に論爭、熟議を凝らす。

十四日 午前、久布白、坂本、市川、金子、劉原、官邸に内務大臣を訪問。一昨日言ひ足りないで、「ふくれた股」の始末にでかけたのである。今度の大臣もまだ早い、と言ふかどうか…。

十七日 アメリカで婦選運動に加はつて活躍したといふミス・グリーン、母君と共に來訪。婦選運動をしてゐるのではなくてしてゐた人の羨ましさ。我々がしてゐた人になるのはいつの事だらう。

午後出版委員會。九月號出來、發送をすます。

二十日 市川、明日大阪に開かれる全關西婦人聯合會主催の經濟大會へ出席のため下阪。

廿一日 ポスターの配布、切符の賣さばきで氣忙はしく一日を暮す。向ふ所、緊縮政策の余波を喰つてか切符の賣れ口も思はしくないので一同青息吐息の態である。

今日擴張婦選の豫約申込がはじめて二人あつた。今日の雨は上つてくれる方が有りがたいが、その代り申込書の洪水で目をまはしたい。

廿四日 金子、日比谷署に映畫會の屆けを出しに行く。九十九錢とは皮肉だとの仰せ。でもたつた一錢で何錢かの何とか稅が助かるのだからさう言ふ悧口な合法的脫稅も警察の方の御仕込となればいたし方もあるまい。

群馬縣の家へ引込んでゐた八木橋氏が久しぶりに上京、事務所に見えた。

夜映畫のために臨時の中央委員會を開く。

廿五日 經濟大會から講演會のことで名古屋へ廻つてゐた市川氏、午後八時の特急で歸京。

廿七日 宮川、森、折から來訪中の大竹氏大橋氏も交つて婦選の廣告や表紙のことを話し合ふ。余りかたくなくと、言つて俗ぽくなく、上品に權威のある。それでゐて人を引つける樣に、などゝ慾ばるので中々大變だ。

廿九日 會場へ持つて行くポスターやプログラムやその他細々したものとりそろへに忙しがつてゐる所へ照井榮三氏來訪昨夜から急に咽喉を傷めてしまつて今夜の會には歌へ相もないのでお詫に來たとのこと咽喉に卷いた白い布を見た瞬間から一同ペシャンコにされ相だつたが照井氏の盡力ですぐに水木晉彌氏を代りに願ふ事が出來てどうやら無事に終へる事が出來た。

エレベーターの扉の開く毎にピク〳〵ものでお客樣を迎へたが、それでも有りがたいことに八〇〇人位は入つたらかどうやら損だけはせずにすむらしい。ほつと一息ついても、まだあとに廣げた仕事の整理が、殘つてゐる。資金作りも中々に辛ひ。

新入會者

九月分合計――十六名
退會者――四名
累計――九百五十四名

正會員――一〇名
吉木保子（市川房枝紹介）齊藤みどり（藤田たき紹介）石原良子、佐々木みつ、佐々木愛、石田茂登子、川崎和久子（以上市川房枝紹介）山岡春子（久布白落實紹介）村山綾子（坂本眞琴紹介）藤田淳子（直接）

維持會員――二名
山下ツネ（市川房枝紹介）武富啓子（坂本眞琴紹介）

會友――三名
中村仙太郎（坂本眞琴紹介）堀田茂三郎、菅生辰次郎（市川房枝紹介）

維持會友――一名
安藤正純（坂本眞琴紹介）

婦選は今日婦人の常識なり、昭和の良妻賢母は『婦選』一册によりて豐かなる常識を養はざるべからず。權利は要求すべく、力は養ふべし。一ケ月二十錢にて時代を學べ。

◇新裝婦選十一月號豫告◇

娘も母も妻も讀め!! 唯一の婦人政治雜誌『婦選』を!!

公開狀 内閣諸公に與ふ
濱口首相に……久布白落實
安達内相に……坂本眞琴
井上藏相に……市川房枝
小橋文相に……河崎なつ

時事解說
政治　坂本眞琴　外交　藤田たき
經濟　市川房枝　社會　金子しげり

海外婦選ニュース　宮川靜枝

翻譯　英國婦選運動　シルビアパンカースト　藤田たき譯

實話　一生に一度　三井みさ子

小說　新生への道　生田花世

漫畫　森　鐵

その他婦人運動運報寄讀者論壇など小記事滿載

月刊毎月一日發行　定價廿錢郵稅二錢
半ケ年一圓二十錢　一ケ年二圓四十錢
乞即刻申込　振替最至便

發行所　東京市麴町區麴町四丁目五　婦選獲得同盟出版部
電話九段一七一九番
振替東京七〇三八三番

編輯餘錄

わが眸とゞく限りの空はれて、秋もやうやく深くなつてまゐりました。今月號を最後としていよ〳〵十一月號から新「婦選」をお送りする事になりました。執筆者諸氏の一方ならぬ御厚意、讀者諸氏の力ある御後援、出版委員の熱と努力、それらを打つて一丸となしたるもの、それが新らたに生れ出づる婦選なのです。どうぞ御知友に御紹介頂きたう存じます。

又、皆樣からの御投稿も歡迎する次第その意味で、「婦選」は、一つの誌上サロンでもありたいと願つて居ります。「婦選」が負ふ特種の使命それを十分に果し得るやう、何卒御敎示下さいまし皆樣の御健在を祈ります

婦人及婦人問題研究者は一本をそなへよ

ソヴエト法と婦人の權利

ロシア問題研究所編著　定價五十錢
婦人問題研究所刊　送料四錢

＝內容＝
(一)ソヴエト政權と婦人　(二)婦人勞働の保護
(三)勞働組合と婦人　(四)民法及土地法における婦人の權利
(五)婦人とソヴエト刑法　(六)結婚及親族法と婦人
(七)母性及子供保護　(八)ソヴエト東洋民族婦人の解放

發行所　東京麴町區麴町四ノ五　婦人問題研究所

ロシアの婦人解放の正しき姿をみる爲に

産婦人科 小兒科

隨時入院の需めに應ず

診察 毎日　宅診午前　往診午後

院長　吉岡彌生
副院長　吉岡房子

東京市牛込區下宮比町四
東京至誠病院
電話牛込三五五番

産科婦人科 小兒科

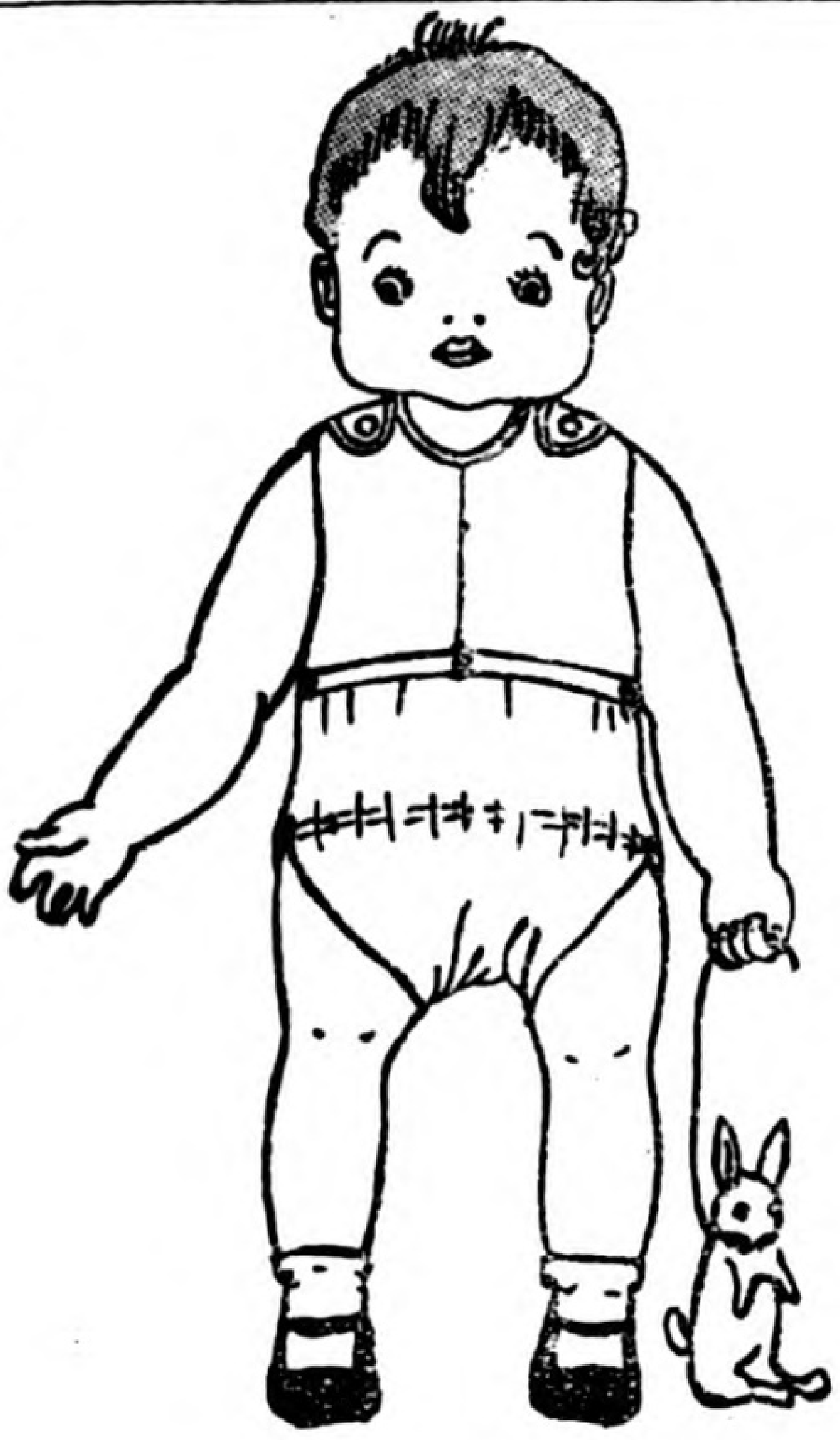
隨時入院の需めに應ず

宅診午前　往診午後

四谷區三光町一
樹德堂
井出醫院
電話四谷一四六〇番
院長　竹內茂代

ボッピーおしめ

新案登錄 112212



下着兼用　防水完全

御贈答品として好適

定價(送料共)　大 二、〇〇　中 一、八〇　小 一、六〇

東京・麴町・四の五
婦選獲得同盟代理部

理想的月經手當法

レデーメンとレデータイ

吉岡彌生先生　竹內茂代先生　御推奬

レデーメンは最新の科學的發明品で液體を吸收して、絶體に漏出の不可能なる粉末狀に變化します。吸收力は脫脂綿の十倍以上、耐久時間一晝夜以上で常に半乾狀態を保ち消毒と同時に完全に臭氣を消し、衛生上、實用上、經濟上、理想的の新品であります

レデータイはレデーメン使用に最も適當なる月經帶で、ゴム製品より遙に衛生的で且使用氣持よく洗濯も自由であります

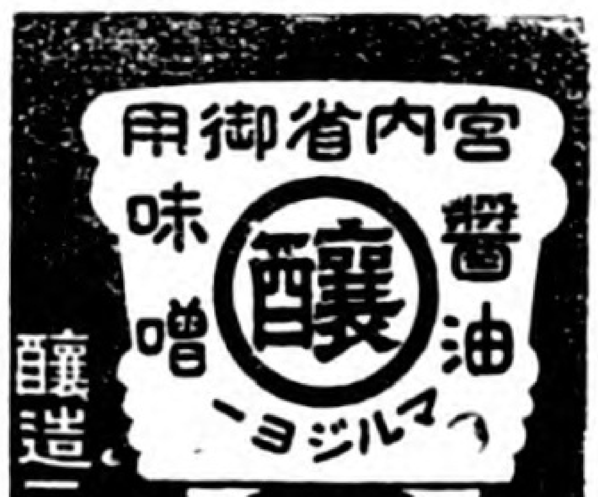
定價　レデーメン拾枚入　三ケ月用七十錢
レデータイ三十五錢
地方送料十二錢
レデーメン十枚入六個以上は送料無料

東京本郷眞砂町三六
發賣元 共成社
振替東京六六四〇番
電話小石川四八四番

●日本で唯一の帝國發明協會表彰權威あるお醬油●

マルジヨー
釀 最上醬油　之れは日本一のおいしいお醬油でありまして何れのお料理にも好適の優良品であります。
釀 甘露醬油　之れは世界一美味濃厚の特製品でありましてかけ醬油つけ醬油としてなくてならぬ最適品であります。

祈婦選成就



釀造元 日本釀造工業株式會社

三越、白木、松屋、松坂屋、菊屋、亀屋、府公設市場其他有名食料品店にあります。本社へ御電話下されば市の內外を問はず直ちに無料で御屆け申ます。

無料配達
醬油　釀 最上醬油(九升樽入 一升壜入)　釀 甘露醬油(一升壜入 半打化粧)
味噌　釀 最上味噌(四合壜入)

東京市小石川區表町
日本釀造工業株式會社
電話小石川 二〇一六番 二二九四番

●日本唯一の日米特許の理想的完全のお醬油●

本誌定價
一部五錢(郵稅 二錢)
一ケ年五十錢(郵稅共)

昭和四年九月九日印刷納本
昭和四年十月十日發行

編輯印刷發行人　市川房枝
印刷所　芝區南佐久間町一丁目一番地　研文社印刷所
發行所　東京市麴町區麴町四丁目五番地　婦選獲得同盟
電話九段一七一九番　振替東京七〇三八三番

付録＝『婦選獲得同盟会報』

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA